

会 議 記 録

会議名称	第2回社会教育委員の会議
日 時	平成28年6月21日(火) 午後4時03分～午後5時50分
場 所	東棟6階 教育委員会室
出席者	委員／吉井、藤川、天野、朝枝、小出、岩崎、多田、笹井 区側／生涯学習スポーツ担当部長、生涯学習推進課長、 社会教育センター所長、社会教育推進担当係長(社会教育主事)、 教育連携担当係長(社会教育センター社会教育主事)、管理係長、 管理係主事、学校支援課職員 <u>オブザーバー</u> 杉並区スポーツ振興財団職員
配付資料	<p><事前配付資料></p> <p>1 第1回社会教委員の会議 会議録(案)</p> <p><当日配付資料></p> <p>1 杉並区社会教育関係団体に対する補助金交付について</p> <p>2 杉並区社会教育関係団体補助金交付要綱等</p> <p>3 社会教育センター事業の概要</p> <p>・各事業別実施状況一覧</p> <p>4 すぎなみ大人塾2015記録集(抜粋)</p> <p>・<u>すぎなみ大人塾パンフレット</u></p> <p>・<u>だがしや楽校コースの一年</u></p> <p>5 6月13日社会教育委員の会議メモ</p> <p><参考資料></p> <p>1 平成27年度すぎなみ教育シンポジウム開催報告</p> <p>○PTAハンドブック</p> <p>○杉並区文化団体連合会のしおり</p> <p>○大人のミカタ：家庭教育支援事業の記録 平成27年</p>
会議次第	<p>1 社会教育関係団体に対する補助金の交付について</p> <p>(1)杉並区立小学校PTA連合協議会</p> <p>(2)杉並区立中学校PTA協議会</p> <p>(3)杉並区学校開放連合協議会</p> <p>(4)杉並区文化団体連合会</p> <p>(5)杉並区体育協会</p> <p>2 今後の生涯学習事業の展開について</p> <p>(1)身近な地域施設等における生涯学習事業展開の可能性</p> <p>①実施事業例</p> <p>②社会教育センターが果たすべき役割・機能</p> <p>3 その他</p>

(意見要旨)

- 議 長 こんにちは。若干定刻を過ぎましたので始めさせていただきます。
(生涯学習スポーツ担当部長 あいさつ)
- 議 長 ありがとうございます。まず資料確認をお願いしたい。
(社会教育推進担当係長(社会教育主事) 説明)
- 議 長 ありがとうございます。では、補助金団体にする補助金交付についての説明を。
- 社会教育推進担当係長(社会教育主事) 団体の運営費と事業費の一部を補助するという考え方に立って補助金交付をする。交付団体は5団体だが、今回は各担当係長級の人に来ていただいた。補助金の根拠はそれぞれの要綱に基づいており、27年度の団体活動をもとに28年度の取り組みに対し、同額の補助金を出すという考え方に沿って構成されている。
団体調書は、27年度の活動報告、会計報告、28年度の活動計画、予算という構成になっている。小学校PTA協議会、中学校のPTA協議会、学校開放連合協議会、文化団体連合会、そして杉並区体育協会という順につづられている。
- 議 長 補助金の予算額は前年と全く変更がないか。
- 社会教育推進担当係長(社会教育主事) はい。
- 議 長 わかりました。団体調書や執行状況を見て、会計監査上は問題ないというが、今後に向けて改善が必要かどうか、質問等をいただければと思うがいかがか。
- 委 員 小学校PTA連合協議会で、今年度の活動方針のサークル活動への支援とあるが、PTAの「P」はどれぐらいの加入率なのか。サークル活動に参加している人数や学校はどれぐらいか。
- 学校支援課 規約上は全校入れることになっているが、それぞれの学校の中でどのくらいなのかということまでの資料の持ち合わせがない。
- 委 員 団体によって、補助金が「運営補助金」と記載されているものとされていないものがある。例えば学校開放は、93万1,000円が運営補助金で、支出の部分でも「運営補助金」が使われている。これは、団体によって違いがあるのか。先程の小・中学校PTAと比較して運営費で補助されているのか、活動費なのかという違いがあるのか。会を運営するために出している補助金のような記載があるのかがいたい。
- 議 長 一般的に、事業費、活動費に対する補助金というのが多く、運営費というのは、組織の存続のためだから、運営費を公費で見ないと成立し得ない。そういう団体には運営費として出しているのではないか。
- 社会教育推進担当係長(社会教育主事) 全区を網羅するような連合体に対して補助金を出すという考え方で、社会教育の振興を図るために必要な運営費に対して補助金を交付して支えていきたいという考え方である。事業費の前に運営面の補助なのだが、現実的には団体の性格もいろいろで、会費収入以外に事業収入などがある場合もあれば、純粋に会費で賄っている場合もある。運営という言葉を使った枠のままの場合もあるが、特にPTAの場合は、会費収入がほとんどなので、運営という言葉を使う前に、会費そのものが実は事業費にあたるという考え方をとっている。運営という言葉で区別するのが難しい。

○議長 ありがとうございます。ほかにどうでしょう。よろしいですか。

もしなければ、事務局からご提案いただいた交付の中身で差し支えないという形で、社会教育委員会としてお答えをしたいと思う。特にならなければ、この案と予算額で、五つの団体に対して補助金を交付差し支えないということにしたいが、よろしいか。

(了承)

(補助金団体関係職員退室)

○議長 では、意見のまとめについては、一任をいただくとして、その他にあれば。

○社会教育推進担当係長（社会教育主事）実は補助金の執行のタイミングについて、団体の自主財源が多様にあるところはそうでもないが、例えばPTAのように単Pで会費徴収をして、そこから初めて連合体の収入を得る団体は、年度切り替えの走り出しの際に資金が必要になる。しかし、この会議の意見を聞くなどの手続きが必要なところから補助金を出せず、数ヶ月間の運営費の捻出に苦労しているとのことであった。今後は、徴収する間の運営が円滑にできるような状態をめざし、できれば改善させていただきたいと思っている。このため、年度明け4月ぐらいにご意見をいただき、団体の方々との関係でつつがなく進めるよう努めていきたいので、ご協力をお願いしたい。

○議長 よろしくお願ひします。では、議題の2番目に行きたい。今後の生涯学習事業の展開について、課長のご説明をお願いしたい。

○生涯学習推進課長 生涯学習の事業は、今まで社会教育センター、セシオン杉並という場所を中心にして、来館型の事業を展開してきた。今後、社会教育センターが担ってきた社会教育活動については、次世代型の科学教育の実施状況を踏まえ、来館型から、区民に身近な施設に出向いて行う出前型・ネットワーク型による展開の可能性について、ご検討をお願いしたい。

○議長 ありがとうございます。出前型の事業の実施例について、紹介を。

○社会教育推進担当係長（社会教育主事）例えば施設があって、その中で企画しその場所を使って実施する、いわゆる学級講座がそのパターンだとすると、企画そのものはその施設の中で考えるが、実施場所は別なところとか、あるいは、企画の段階から地域に入ってその人たちと一緒に考えるとかパターンはさまざまある。平成元年に社会教育センターができ、そこが社会教育活動の拠点であるという条例のもとで、しかも、都市型文化施設というキーワードで、ホールや展示室等様々な文化活動に耐え得る多目的利用の可能な施設をつくるのが社教センターの一つの存立の際の考え方であり、そこをフレキシブルに使いながら事業を実施してくるというのがこれまでのやり方だったと。ところが、事業の工夫の仕方、参加した学習者の自発性の中で、いろんなところへ出て行って活動を実施するなどの展開を見せるようになってきた状況がある。より地域の人に近づき、お互いが意欲的に取り組んでいくことは、一つの重要なやり方になり得るのではと考えている。

○生涯学習推進課長 科学教育事業は、各地域センターのまつり等を中心にして出前による移動式プラネタリウムをご覧いただくようにしている。それから星の観望会については、天候が悪くて観測ができなかったこともあったが、地域展開をしている。さらに、旧科学館の科学教室の後継事業を「フューチャーサイエンスクラブ」とし、場所を高円寺中に移して実施したり、2月の終わりにはセシオン杉並を会場にして、科学の関係団体や企業、学校の協

力も得て、25を超えるブースを出展した「すぎなみサイエンスフェスタ」を開催したりしている。予想を超える来場者数で、議会でも他の地域区民センターを使ってフェスタをできないのかとの話も出るような状況であった。

- 議長 ここまでのところで、質問や聞きたいことがあれば。
- 社会教育センター社会教育主事 社会教育センターが行ったサイエンスフェスタがきっかけとなって、出展した団体に阿佐谷地域区民センター協議会から声がかかり、先々月、科学に関するフェスタを開催している。社会教育センターが場所として区民センターを使うという面もあるが、その場の運営主体が社会教育センターの掘り起こした人材や団体を使って自ら地域展開をしていくところもある。この取り組みが次に向けての手がかりになると感じている。
- 議長 なるほど。出前をすると、行った先で自発的な活動が起こる。出前元がサービスを提供するだけではなく、社会教育活動の活性化にも繋がる。
- 委員 出前型も来館型も、そこで出会った人たちや開眼した人たちと新たに体験した方たちが、次に「自分もやってみよう」と行動できるようなところに持っていくのが社会教育センターの役割だと思っている。社会教育センターで、興味のある人たちが行動できるような仕組みをつくっていただくとありがたい。
- 議長 ありがとうございます。ほかにどうか、どなたでもどうぞ。
- 委員 何かをやりたい人が来たら、地域区民センターを紹介するなどの繋ぐ役目や、社会教育コーディネーターの育成、情報を集約してするなど、コーディネート機能を持つべき部署が社会教育センターではないかと思う。
- 議長 おっしゃるとおりだと思う。ほかの皆さんはどうか。
- 委員 最終的には地域づくりや、そういう人をつくるような大きな目標があるかと思うが、ふり返りや課題があってこそグループができるようになるのかもしれない。しかし、そのグループ活動がここだけで終始してしまうと以前からあるグループが偉くなってしまい、グループ同士がうまくいかなくなることもある。地域を巻き込んで事業をやりながらふり返りをし、常に機運が醸成されている仕組みや流れをつくり出す役割が社会教育センターにあると思う。必要なのは、場所をどうするかではなくやり方を考えることである。
- 議長 生涯学習を生涯にわたって学び続けるのは継続性が必要。継続させるための装置は、場だと思う。それは、施設であってもいいし、民間グループの集まりの場でも良いが、場がないと活動は継続しない。セッションだけではなく、さまざまなところに場をつくってもいいと思う。大切なことは、物理的な空間だけでなくコミュニケーションが自然に生まれ、お互いに学び合え、教え合え、やる気が起きたり人が支えられたりするような場のことである。
- 委員 そこに何か仕掛けがないと、厳しいかもしれない。
- 議長 その仕掛けは、我々が考えなくてはいけない。
- 委員 なるほど。仕掛けは必要で、社会教育センターに求められるものかと思う。
- 議長 ありがとうございます。どうぞ。ほかの皆さん、意見は。
- 委員 科学教育の新たな施設をつくるという話があるようだが、それをつくるときに、例えば知り合った人たちがそこに集まって、そこに行くと、図

書館の司書のように、来ている団体や科学技術を持っている男の子のこともよく知っていて、その子がいるから会ってみたらとかのコーディネートができるのではないかと。組織に所属していれば、ある程度学びができるのだが、さらに地域の中で充実した生活や人生を送っていきたい人たちのためのものが社会教育で、サポートしていくことができれば良くなると思う。

- 委員 社会教育センターで助成金のようなものが取れる仕組みをつくり、人材組織を固め、例えば、活動した部分で人材バンク等に登録されると、その人をバックアップする仕組みがあって、活動部分の紹介をする講座があったときには参画し、そこに賛同する人がいれば人材の補完もでき、つながりが育つように思う。
- 委員 今のようなところは、プロ市民だと思う。行政を使える市民、活動をするとなつて門戸を開いた時、その先に役所の人たちがいて、役所の人たちが杉並区をレクチャーすることで、その人たちが杉並区を知り、普通の市民より少しプロ市民になる。自分は住民でもあるから住民のこともわかる間の層になっていくと思う。その人たちが何を意欲して、プロとして活動していくかということのエネルギー源であったり、支えであったり。その人たちにどう、うまみを与えていくか、役所としてできることできないこともあると思うがうまくいったら、人材バンク等で積み重ねていっていいと感じた。
- 議長 ありがとうございます。
- 委員 杉並区の認定の社会教育コーディネーターをつくるのはどうか。プロ市民とおっしゃったが。
- 委員 育てられればいいが、教育してリーダーにするというのは難しい。小さいところでうまくコーディネーターをする人が、全区的なこととか大きなところができるかといったら、一概にもそうは言えない。さっき言ったプロ市民というのは、育てなくても、もともとプロ市民だと思う。ある企業で何か活躍した人とか、スキルを持っているとか。結局、たまたまそういう人が地域に目を向けてそうなつたので、そういう企業との力とか、教育するという意味で、とても大事だなと思う。
- 議長 ほかに何かあれば。よろしいか。
(なし)
- 議長 では、今日はこの辺で。どうもありがとうございました。次回の日程について。
- 社会教育推進担当係長(社会教育主事) はい。ありがとうございました。次が8月になり、8月は夏休みがあるので、7月中に1カ月後になってしまうが、もう一度集まる機会がいただければと考えている。またメールで伺って日程を設定させていただき、できましたら7月にもう一度と思っております。
- 議長 ありがとうございます。この辺でお開きにしますが、最後に部長からご挨拶をぜひ。
(生涯学習スポーツ担当部長 あいさつ)
- 議長 ありがとうございます。じゃあ、皆さん、どうもお疲れさまでした。